



---

## 日本開催の目的と日本及びアジアからの発信 ～地域循環共生圏・地域脱炭素先行地域の好事例から～

---

2022年6月24日  
環境事務次官 中井 徳太郎



---

# 1. 社会変革のために、何をすべきか

---

# 社会変革のために、何をすべきか



<ウィズコロナ・ポストコロナの時代>

## 「3つの移行」で経済社会をリデザイン（再設計）

### ① 脱炭素社会

- ゼロカーボンシティ再エネ強化支援パッケージ
- 「新たな日常」の脱炭素化
- 脱炭素イノベーション加速化

### ② 循環経済

- プラスチック資源循環戦略の具体化
- 持続可能な廃棄物処理体制構築
- レジリエントな廃棄物処理

### 地域循環共生圏 (ローカルSDGs) の創造

### ③ 分散型・自然共生社会

- 「気候変動x防災」「適応復興」によるレジリエント化
- 国立公園の抜本強化
- 新たな里地里山里海の創造

### 移行を支える取組

#### ESG金融・ナッジ等を活用した社会変革

- ESG金融、インパクトファイナンス
- ナッジ
- 脱炭素経営、スタートアップ支援

#### 環境外交の強化

- COP26、COP15 に向けた外交強化
- 大阪ブルーオーシャンビジョン拡大・深化
- 脱炭素化原則に基づく環境インフラ輸出

#### 基盤となる健康と環境を守る取組

- 人獣共通感染症対策
- 石綿、PCB、水俣、動物愛護管理

# 地域脱炭素ロードマップの全体像 (脱炭素先行地域づくりと重点対策)

今後の5年間に政策を総動員し、**人材・技術・情報・資金を積極支援**

① 2030年度までに少なくとも**100か所の「脱炭素先行地域」**をつくる

② **全国で、重点対策**を実行 (自家消費型太陽光、省エネ住宅、電動車など)

2020

2025

2030

2050

5年間の集中期間に政策総動員

## 脱炭素先行地域づくり

- 民生部門 (家庭部門及び業務その他部門) の電力消費に伴うCO<sub>2</sub>排出を実質ゼロまで削減。また、運輸部門や燃料・熱利用等についても、国全体の削減目標と整合するレベルに削減。
- IoT等活用し、取組進捗や排出削減を評価分析し、透明性を確保。

## 重点対策

- ① 屋根置きなど自家消費型の太陽光発電
- ② 地域共生・地域裨益型再エネの立地
- ③ 公共施設など業務ビル等における徹底した省エネと再エネ電気調達と更新や改修時のZEB化誘導
- ④ 住宅・建築物の省エネ性能等の向上
- ⑤ ゼロカーボン・ドライブ (再エネ電力×EV/PHEV/FCV)
- ⑥ 資源循環の高度化を通じた循環経済への移行
- ⑦ コンパクト・プラス・ネットワーク等による脱炭素型まちづくり
- ⑧ 食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立

全国で多くの脱炭素ドミノ

2050年を待たずに

脱炭素で強靱な活力ある地域社会を全国で実現

## ロードマップの実践のための今後と取組

- 地球温暖化対策計画、長期戦略等に反映し、国・自治体・地域企業等が一丸となって速やかに実践
- 地球温暖化対策計画の進捗管理の一環として継続的に実施
- 国と地方が様々な場を通じて継続的な意見交換

★**基盤的施策** ①継続的・包括的支援 ②ライフスタイルイノベーション ③制度改革

- 2030年までにカーボンニュートラルの実現を目指す**脱炭素先行地域を100か所以上**創出し、脱炭素を通じて様々な**地域課題を解決することで、全国に脱炭素ドミノを広げていく**
- 2022年4月26日、脱炭素先行地域**第一弾として26件を選定**。今後も**2025年度まで年2回程度の選定を予定**

北海道上士幌町  
～ゼロカーボン上士幌の実現～

- 地域の新電力を通じて畜産ふん尿の処理過程で発生するメタンガスを利用した**バイオガス発電**等により、**町全域の家庭・業務ビル等の電力の脱炭素化**を図るとともに、役場庁舎中心に大規模停電などの非常時においても**防災拠点として電力**を確保



酪農施設（搾乳設備）

神奈川県横浜市  
～みなとみらい21大都市脱炭素モデル～

- 市営住宅等を活用した**太陽光発電導入**、**東北13市町村等から再エネ電気調達**等様々な手法を活用し、**大規模デマンドレスポンスによる需要調整**をしつつ**みなとみらい21地区**の施設を脱炭素化し、都市間競争力向上



みなとみらい21含む市内沿岸部

長野県松本市  
～のりくら高原「ゼロカーボンパーク」～

- **乗鞍高原地区**の各施設の屋根等を活用した太陽光導入のほか、**地域主導・地域共生型の小水力発電施設の導入**により脱炭素化し、地域課題を解決
- 薪ストーブ燃料（**木質バイオマス熱利用**）の木材加工・供給等の取組を、**地元の協議会のサポートの下、地域ビジネス**として事業化



乗鞍高原

滋賀県米原市・滋賀県  
～ECO VILLAGE構想～

- **耕作放棄地**において、**ソーラーシェアリング**を実施するとともに、**AI・IoTを実装した環境配慮型栽培ハウス**(空調等に省CO2設備導入・リユース単管パイプ等)を導入し、公共施設等を脱炭素化することで、農福連携等を推進



環境配慮型栽培ハウスのイメージ

兵庫県姫路市  
～姫路城ゼロカーボンキャッスル構想～

- 郊外市有遊休地に**太陽光・蓄電池**を設置し、**世界遺産・国宝「姫路城」を中心とした特別史跡指定区域内等**に再エネ供給を行い**ゼロカーボンキャッスル**を実現し、観光地としての魅力とブランド力向上



姫路城

鹿児島県知名町・和泊町  
～ゼロカーボンアイランドおきのえらぶ～

- 沖永良部島の系統末端部の地区において、**再エネ・蓄電池・マイクログリッド**を導入し、**自立分散型電源を確保**することにより、島外からの化石燃料に依存し、台風時の停電など大きなリスクを抱える**離島特有のエネルギー供給の課題解決に貢献**



沖永良部島全景と脱炭素先行地域対象エリア

---

## 2. 地域循環共生圏への発展

---

# 地域循環共生圏 = ローカルSDGs

地域の活力が最大限に発揮されることを目指す

- 地域資源を活かし、**自立・分散型の社会**を形成
- 地域の特性に応じて補完し、**支え合う**

第五次環境基本計画（閣議決定）

- ✓環境・経済・社会の統合的向上
- ✓あらゆる観点からイノベーションを創出
- ✓幅広いパートナーシップを充実・強化



脱炭素社会  
循環経済  
分散型・  
自然共生社会

3つの移行

経済社会の  
リデザイン = 再設計

地域の活性化・持続可能な地域  
環境・生命文明社会の実現

# 「地域循環共生圏」の概念



- **人間** = 細胞・組織が自立・分散して機能



- **SDGs** = No one will be left behind. 誰も取り残さない（あらゆる個人が活躍）



資料：国連広報センター

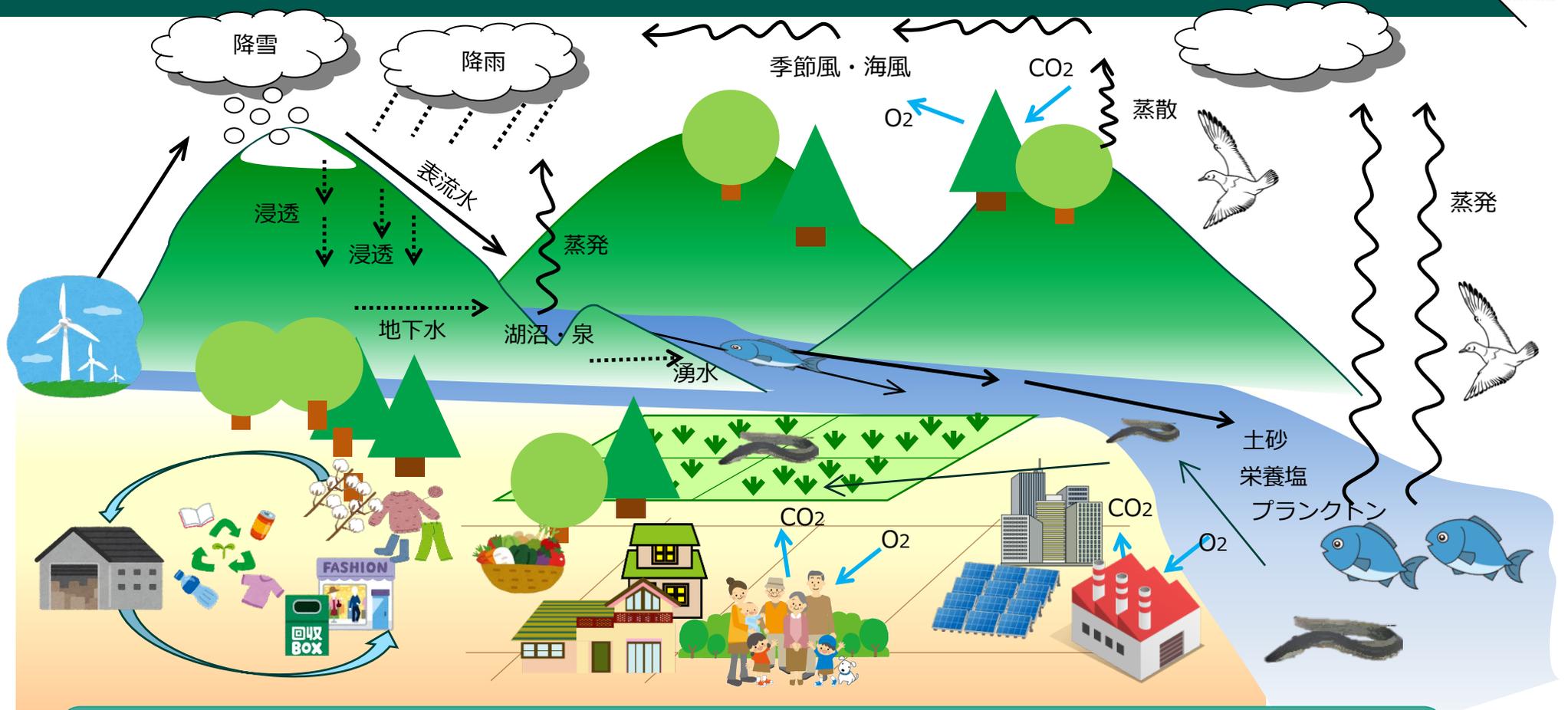
- **地域循環共生圏** = 資源を循環利用して持続する「自立」する地域が、相互に連携し機能する。



地域の特性、地域資源の性質に応じ、**最適な規模で地域資源が循環**する。

- 狭い地域での循環に適した資源  
⇒ コミュニティや自治体レベルの小さな領域で循環
- 広い地域での循環に適した資源  
⇒ 河川流域、都道府県、国など地域を越えたより広い領域での循環

# 森里川海のつながりが生み出す恵みと資源の循環利用

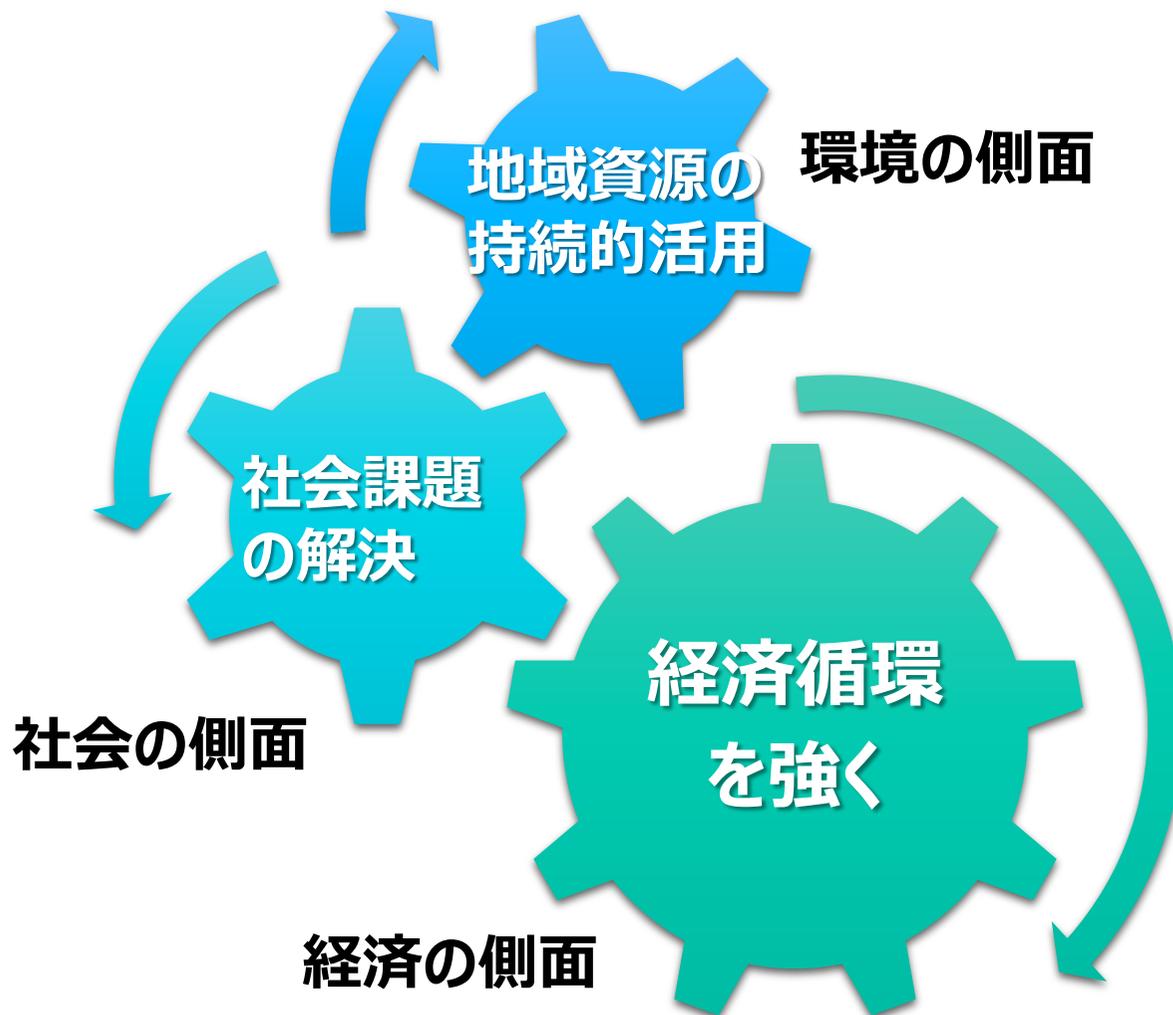


## 森・里・川・海の水・物質循環が生み出す資源（生態系サービス） 地上で既に使用されている地下資源

- 清く豊かな水、清浄な空気、土壌の保全、気候の安定、安全で美味しい食材、地域特産品、地域の自然に根ざした文化、再生可能エネルギー（太陽光・風力・水力・バイオマス）、木材、竹等森林資源等
- 既に地上において使用されている金属資源、プラスチック等

# どうやって地域を元気にする？

カギは、「ローカルSDGs事業」を地域でたくさん生み出すこと



環境・経済・社会を  
統合的に良くする  
事業・ビジネス

= ローカルSDGs事業



たくさんのローカルSDGs  
事業により、地域づくりを  
持続的に行っている地域

= 地域循環共生圏

# 世界のSDGs 達成も私たちの地域から、暮らしから



## 地域循環共生圏

= 地域のSDGs

: SDGsを地域で実践するためのビジョン



## グッドライフアワード 森里川海プロジェクト

= 暮らしのSDGs

: 一人一人、一社一社がSDGsを取り入れるアクション



